

月刊 動労千葉

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

89.11.8 No.3107

申1・2号で団体交渉行っ く11月4日> 全てにひらき直るJR千葉支社

●不当処分策動を粉碎しよう!
●運転保安確立へ総決起しよう!

動労千葉は、十一月四日、千葉支社と申一、申二号、さらには、この間の事故の責任をすべて追及するべく、団体交渉を行った。

● 団交開催の遅れを追及

動労千葉申一、申二号は、第十六回大会を経て向こう一年間の団交のあり方、さらには、緊急に解決すべき課題を申し入れた最重要な課題である。しかし、当局は、「様々な事故が発生した」

● 事故の責任をすべて労働者に転嫁

昨年十二月に東中野事故が発生し、二名の尊い人命が犠牲となった。しかし、十・二四習志野電車区構内における事故以降、またしても乗務停止処分や、津田沼支部浜野支部長に対する処分策動が大手をふってまかりとおろうとしている。当局は「事故が起きるのは動労千葉のせい」と完全に開き直り、この機に「動労千葉を解体せよ」とばかりに処分策動を強めている。

現場では、「アゴヒモ・カーテンをやること」が事故防止対策のごとく、労働者へのしめつけを行なっているのである。東中野事故以後、当局の行った「事故防止策」は、精神教育のみを強調した「安全教育」だけである。

また、この日の団交では、強制配転者の原職復帰、予科生の士職登用問題について当局の考えをただした。当局は、「任用の基準、就業規則に基づいて行い」とくり返すのみであり、予科生の士職登用については、なんと「車掌経験者から優先的に登用する」という

● 清算事業団の仲間を採用しろ!

「事故原因の究明は、JRとしてもすべて九月末段階で終了している。」

「事故原因の究明は、JRとしてもすべて九月末段階で終了している。」

● 強制配転者の原職奪還!

さらに、「清算事業団の仲間を採用せよ」というわれわれの切実な要求に対しては、「社員の採用については、本社で取り扱っている」「(地労委命令が出たら)内容にもよる。労働委員会は二

● 強制配転者の原職奪還!

予科生の士職登用は年次順に行え!

底意認できない。われわれの切実な要求を一切無視するならば、われわれは真正面から受けて立つ以外にないのである。この日は、団交をひき続き継続することを確認し、終了した。

反△日・運
転保安確立
—緊急急街頭
宣伝行動へ
立とう!

十月二十四日、習志野電車区で発生した衝突・脱線事故以来、JR当局は、列車通過事故を理由とした乗務停止処分、「管理者を添乗させなかった」なる理由による乗務停止処分を強行し、「事故が起きたのは動労千葉がいるからだ」などと全くふざけた対応に終始し、さらなる不当処分を策動している。

十二・五東中野事故の責任をとろうともせず、当該労働者に事故責任を全ておしつけ、動労千葉破壊策動に出てきたのである。

JR当局の全く不当な「安全無視、責任放棄、当該労働者への責任転嫁」を徹底的に弾劾するために各支部は街頭宣伝行動へ立とうではないか!

労働者総決起集会

11月23日 正午

東京・渋谷
宮下公園